

公益社団法人兵庫県私学振興協会 設立60周年記念講演会

日時 令和6年11月18日(月) 13:30~15:30

場所 兵庫県私学会館2階 大会議室

理事長あいさつ (山根 耕平)



感謝状贈呈 (知事感謝状)

瀧川 好庸 様

理事 平成14年5月~平成21年5月、平成27年6月~令和3年6月 (計13年間)

うち理事長 平成29年6月~令和3年6月 (4年間)



贈呈者 兵庫県総務部次長 増澤 清嗣 様

感謝状贈呈 (理事長感謝状)

櫻井 繁樹 様

監事 平成25年4月~現在 (11年間)



贈呈者 兵庫県私学振興協会理事長 山根 耕平 様

## 講演

講師 鈴木 寛 氏（東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授）

演題「中等教育の動向と課題」



## これからの学校教育

### 講義中心から1対1重視と探究学習（PBL）と協働学習を軸にした学校

- 1 on 1を最重要のKPIに：生徒のWB向上に直結する「1on1生徒と教師、生徒と生徒、生徒と先輩」の1 on 1の関係の充実を
- 児童・生徒に寄り添い、さらには、**認知特性、学習特性**を把握し、学びや暮らしの公正な個別最適化と良好な関係構築・協働学習を支援 自律的学習育成
- 生徒の自主性、自律性の向上を育む探究学習を通じて個別指導、個別面談の機会を充実 学校、ネット、学校外
- 探究学習などを通じて**生徒の好きや才能**を見つけ、心のエンジンを駆動させ、真骨頂を作るための個別最適な学びをつくる
- 知識・技能習得はデジタルとリアル、パッケージと対話のベストな組み合わせで効率化、能動的で対話的な時間を捻出
- 放課後の1 on 1の時間を確保するため、部活指導と校務などに取られる時間を減らす
  - デジタルレクチャー教材、デジタル自学実習教材の充実、校務の情報化、地域のスポーツ資源を総動員して部活負担軽減
- 授業中の1 on 1の時間を確保する
  - デジタル自習教材による個別最適化された自学自習＋協働学習（生徒同士の教え合い）を増やす、レクチャーはなるべくデジタル教材に切り替え、文部科学省のMEXCBTと経産省の未来の教室ライブラリーの積極的活用
- コミュニティ（地域・テーマ）・NPO・民間企業など地域が総がかりで探究やPBLを支援
- 協働学習＋他校・学外・都会・他国との協働・支援
- 田園と都市との連携・協働・共創
- 屋根瓦方式の活用 受け身で学ぶ立場から、他者をリードする役割や機会を